

PTA研修視察

鹿児島中央高等学校

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、本校では4年ぶりとなるPTA研修視察が7月19日に行われました。参加者は、職員と保護者合わせて35名でした。

7時42分の新幹線で鹿児島中央駅を出発し、新鳥栖駅で貸し切りバスに乗り換えました。

まずは太宰府天満宮を視察しました。すっかり打ち解けた保護者の皆さんは、賑やかなお店が建ち並ぶ表参道を楽しそうに会話をしながら歩いていました。境内に入ると、学業御守を買う3年生の保護者の姿も見られました。私も本校の3年生と浪人生の合格祈願を絵馬

に書きました。

再びバスに乗り込み、途中のレストランで昼食をとって、九州大学伊都キャンパスを視察しました。卒業生も会いに来てくれてキャンパス内を案内してくれました。

博多駅へ向かうバスの中では、進路学習と親睦を兼ねて、クイズ大会を行いました。鹿児島大学農学部改組に関する問題や、昭和10年に当時の天皇陛下が本校の校舎に宿泊されたことに関する問題などが出されました。正解者にはささやかな賞品も贈られ、大いに盛り上がりました。

今年度、本校は創立60周年を迎え、11月2日に

同窓会や保護者の協力をお願いしながら記念式典を行いました。今後も保護者と協力しながら、よ

りよい教育活動を目指してまいります。
(教頭 山口 悟)



九州大学伊都キャンパスにて